タイトル	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
タイルプレート ～ガラスタイルでつくろう～	中	学級生活 １年 （特別活動）	

＜ねらい＞

・ガラスタイルの大きさや色、文字種などを選択してつくることができる。
・教師の見本や説明を見聞きして、手順通りにつくることができる。
・手指を使い、ガラスタイルをつまんだり、貼り付けたりすることができる。
・ガラスタイルの配置や配色などを工夫しながら、つくる楽しさを味わう。
・作品を丁寧に扱うことができる。

＜内容＞

①ガラスタイルについて知る。
・トイレや風呂場など、身近な場所にタイルが使われていることに気づく。
②好きな文字を選び、用紙の上にガラスタイルを並べる。
・イニシャルまたは名前（ひらがな、漢字等）から好きな文字を選ぶ。
・プレートと同じサイズの用紙に、選んだ文字を書き、文字の大きさや位置などを確かめる。
・文字の線上に２～３㎜程度の間を空けながら、ガラスタイル（１㎝角）を並べる。
③プレート上にガラスタイルを並べ、ボンドで固定する。
・②の用紙を見ながら、プレートに鉛筆で文字を書く。
・②同様、色のついたガラスタイル（１㎝角）を並べ、ボンドで固定する。
・タイルの隙間に目地材と同色の、白色のガラスタイルを並べ、ボンドで固定する。
④余白部分に、ガラスタイル（２㎝角や〇、花型など）を並べてボンドで固定する。
⑤タイルの目地材を塗り込む。
・ガラスタイル同士の隙間をねらって、ヘラやスプーン、割り箸で目地材を塗り込む。
⑥余分な目地材をスポンジで拭き取る。
・目地材が乾ききる前に、水にぬらしたスポンジで余分な目地材を拭き取る。
⑦ガラスタイルを磨く。
・水にぬらしたスポンジで、ガラスタイル１つ１つを磨き上げる。
⑧プレートの縁の色を決める。
・色見本から好きな色を選ぶ。

＜良かった点・改善点（児童生徒の反応を含めて）＞

・ガラスタイルを並べる工程では、見本を見たり、生徒同士で並べ方を見合ったりしたことで、円状に並べたり、グラデーションをつくるように並べたりするなど、デザインの幅が広がった。
・色が好きな生徒が在籍しており、色とりどりのガラスタイルに興味を持って活動できた。
・ガラスタイルを磨く作業では、１つ１つのタイルがきれいに浮かびあがる様子が視覚的に分かりやすく、達成感を感じられた。
・タイルの目地材がある程度乾くまである程度の時間を要するため、待ち時間に行うことを明確に設定した方がよかった。
・木製や金属製よりも柔らかいプラスチック製のプレートを使用したため、目地材が固まった後に割れやすく、耐久面に弱くなってしまった。

＜その他（材料・費用・購入先等）＞

・ガラスタイル、文字見本の紙、鉛筆、プレート、ボンド、タイルの目地材、紙皿（目地材を入れる）、ヘラ、スプーン、割り箸、ドライヤー、スポンジ、アクリル絵の具